小説

『うちの父が運転をやめません』

垣谷　美雨　著

高齢者ドライバーの事故のニュースを見るたびに、田舎の父のことが気になる雅志。しかし、田舎では車なしでは生活困難な現実がある。「自分だけは大丈夫」と言い張る父と、様々な提案をし免許返納の説得を試みる息子。果たして父は運転をやめるのか、そして雅志の出した結論とは……。

小説

『ほどなく、お別れです　それぞれの灯火』

長月　天音　著

スカイツリーにほど近い葬儀場、坂東会館に勤める美空。交通事故で亡くなった高校生、自殺したお婆さん、末期ガン患者など、様々な理由で亡くなった人々を見送った。葬儀を執り行う遺族の気持ちに寄り添いながら、美空は日々奮闘する。

小説

『東京、はじまる』

門井　慶喜　著

江戸から明治へ、日本が近代国家としてスタートした時代。日本銀行、東京駅、国会議事堂など、近代国家を象徴する建造物を手がけた明治の建築家、辰野金吾。弟子やライバルとの衝突、複雑な人間関係に悩みながらも東京の建設に突き進んだ金吾の熱い生涯を描く。

小説

『糸』

林　民夫　著

北海道・美瑛の花火大会で出会った園田葵に一目惚れした高橋漣。葵が義父から虐待されていることを知るが、まだ中学生の漣には何もできず、つなごうとした手は引き離されてしまう。平成元年生まれの漣と葵が出会い、別れ、平成の終わりに再び巡り逢うまでの 18 年間の物語。

小説

『ピカソになれない私たち』

一色　さゆり　著

名門で知られる東京美術大学にて厳しいことで有名な森本教授のゼミに属する油画科の望音・詩乃・太郎・和美の 4 人は、自身の才能や実力、将来の不安などを感じながらも、研鑽を重ねていた。そんな折、森本ゼミに伝わる過去におきた放火事件の噂を聞いた詩乃たちは……。

趣味実用

『北大総合博物館のすごい標本』

北海道大学総合博物館　編

開館 20 周年を迎えた北大総合博物館が収蔵する標本 300 万点から、陸上植物、菌類、昆虫、魚類、古生物、岩石・鉱物、考古など 10 分野から各 10 点、計 100 点を取り上げ精細な写真と解説で紹介。歴代研究者や、標本作成や保存に使用する道具なども収録しています。

趣味実用

『老後になって後悔しないために、知っておくべき 88 のこと』

山﨑　武也　著

老後になり、何もすることがないと、家で 1 日中テレビを見ている「閉じこもり症候群」になりがち。そうならないために、気づかぬうちにやってくる老後にそなえ、後悔しないためにいまできる 88 のこと、やっておくべきことを紹介しています。

趣味実用

『国民食の履歴書』

魚柄　仁之助　著

明治から昭和にかけて出版された料理雑誌や家庭雑誌を調べ、レシピ通りに調理し、食べて、分析。日本の国民食といわれるカレーやマヨネーズ、ソース、餃子、肉じゃがが、どのようにして家庭に定着していったのか、履歴をたどる 1 冊。昔の雑誌の表紙とレシピも多数収録しています。

趣味実用

『野菜はくすり』

村田　裕子　監修

栄養を効果的にとれる食べ合わせや調理法で毎日ちょっとずつ野菜を食べて、健康な体をつくろう。野菜の栄養成分とその効果・効能、栄養素を効率的にとれる食べ合わせや調理法を解説。興味のある野菜にどんな栄養があるのか、どう食べたらいいのか、気軽に参考できる保存版です。

趣味実用

『ヘンテコ城めぐり』

長谷川　ヨシテル　著

「城内をジェットコースターが疾走していたお城」「波の音がうるさくて眠れないお城」などの、ちょっと変わったエピソードや特徴を持つ全国86ケ所のお城を紹介。普通のお城本ではあまり掲載していない情報を詰め込んでいます。初心者からお城マニアまで楽しめる 1 冊。